

科目名	相談援助演習Ⅴ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	橋本みきえ・大川 絹代・大西 良・笠 修彰・久保 英樹						
開講年次	3・4	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、実習体験の振り返りを通して、対人援助の方法や専門職に求められる知識・態度について確認しながら、相談援助の理論と実践知の統合を行う。また、社会福祉における効果測定や地域福祉計画などへの理解を深めるための授業を演習方式で展開する。						
授 業 の 到達目標	1) 実習での体験を言語化し、他者と共有することができる。 2) 実習体験による学びを相談援助の理論に照らして考えることができる。 3) グループ活動を通して、自己の活動を専門的価値・倫理に照らして振り返る。 4) 事例を通して、地域福祉の基盤整備にかかる支援活動を理解する。 5) グループ活動を通して、集団への支援に必要な知識を体験的に理解する。 6) 社会福祉における効果測定の活用例を知る。 7) 家庭内暴力など危機的状況にある人々への相談援助に対する知識を持つ。						
学習方法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習方式で行う。						
テキスト及び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	◎	○			30
授業態度							
受講者の発表	○	◎	○	◎			20
授業への参加度		○	◎	○			50
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	実習体験を共有する 1（グループワーク）						
第 3 週	実習を通して学んだこと 1（グループワーク）						
第 4 週	実習を通して学んだこと 2（グループワーク）						
第 5 週	社会福祉実践に必要な知識・技術－実習体験の振り返りを通して－						
第 6 週	家庭内暴力について						
第 7 週	家庭内暴力に対する相談援助の理解 1						
第 8 週	家庭内暴力に対する相談援助の理解 2						
第 9 週	事例で学ぶ地域福祉活動 1（アウトリーチとニーズ把握）						
第 10 週	事例で学ぶ地域福祉活動 2（アウトリーチとニーズ把握）						
第 11 週	事例で学ぶ地域福祉活動 3（住民主体の基盤整備）						
第 12 週	事例で学ぶ地域福祉活動 4（住民主体の基盤整備）＜グループ発表＞&グループダイナミクスの理解						
第 13 週	社会福祉における効果測定 1 アンケート結果の考察						
第 14 週	社会福祉における効果測定 2 プロセス評価						
第 15 週	社会福祉における効果測定 3 プロセス評価						
第 16 週							
備 考	本科目の履修は、「社会福祉援助実習指導Ⅲ」と併行して行うこと。						